

## くずはモールがオープン



▲本館

本年4月、営業面積50,000㎡、専門店約150店と関西圏有数の規模を誇るショッピングセンター「くずはモール」(本館・西館)が樟葉駅前にオープンしました。近くKIDS館もオープンする予定です。

その建設に当たって環境に配慮した設計・施工を行ったほか、オープン後の運営についても環境への負荷を減らす試みを行っています。

▼西館



### ヒートアイランド対策

アスファルトで舗装された路面は、昼間時の太陽による熱射で高温となり、その熱を夜間に放出します。一方、緑地面積の減少により、植物や地表からの水分蒸発量が減少します。こういった要因によって、都市部の気温が周辺部よりも高くなることをヒートアイランド現象と言います。

くずはモールでは、その対策として屋上駐車場に木製パーゴラを設置し、約400㎡にわたってツタ類を植えているほか、レストラン街「DINING.ST(ダイニングストリート)」には、屋上庭園を設けるなどして、緑地面積を増やしています。

また、DINING.STの通路面には透水性舗装を施し、路面の透水性を高めています。



▲屋上庭園

### CO<sub>2</sub>排出量の削減

太陽光発電設備を採用し、照明設備に必要な電力の一部を賄っています。

また、化石燃料(石油、石炭、天然ガスなど)を使用しない、深夜電力を利用した水蓄熱設備による空調を採用し、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出量の削減と省エネルギーを図っています。



▲太陽光発電

### 廃棄物の削減

日々の営業活動で発生する廃棄物を計量するシステムを導入し、排出量の把握やその削減に努めています。

また、分別指導員を置くことで分別を徹底し、テナントと協力しながら効率的なリサイクルを行っています。